

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。
近代における山梨ゆかりの人物の
功績などを紹介しています。

旧知事室

残された当時の家具類
や写真などから、創建
時の知事室の内装を
復元しました。昭和
初期の香りを感じ
てください。



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰
囲気を感じられる空間としました。
中央のモニターで県政の歴史などをご覧
いただけます。



3階 正庁

県庁内の特別な行
事を行う場所です。
残された写真から
当時の姿に復元し
ました。
年間10回程度講座
等も開催します。



人物紹介室

テーマに沿って9人の
人物を詳しく紹介しま
す。中央では、近代化の
象徴である中央線笹子
トンネルの歴史を映像
で紹介しています。

ふるさと人物伝

子ども向けコンテンツ
「ふるさと人物伝」
キャラクターとなった人物の
クイズを楽しみながら人生
の転機などが学べます。



導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さま
をお迎えます。人物の功績や人物が残
した言葉などをお伝えしています。



情報展示室

50人に関連するその他の人
物や、人物ゆかりの地など、
様々な情報を検索できます。

2階展示施設

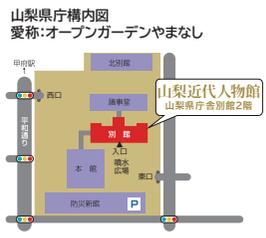
Information

開館時間／午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
休館日／毎月第2・第4火曜日 12月29日～1月3日
その他展示替え等により臨時に休館する場合があります
入館料／無料

山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991
<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



防災新館地下駐車場をご利用ください。(駐車無料)

第10回展示

2019年10月1日(火)～2020年3月28日(土)

県庁舎別館展示施設

山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、
近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。



山梨近代人物館 人物紹介室

山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物50人の中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

第10回展示「近代文学に足跡を残した人々 — 県立文学館開館30周年 —」

本県ゆかりの文学者を紹介する山梨県立文学館は、2019年に開館30周年を迎えます。これを記念して、山梨近代人物館でも山梨とかかわりの深い文学者の足跡をたどります。



むら おか はな こ
村岡 花子

(甲府市 1893~1968)

モンゴメリ作「赤毛のアン」の翻訳で知られる翻訳家・児童文学者。来日したヘレン・ケラーの通訳を務めた。



ひ ぐち いち よう
樋口 一葉

(東京都 1872~1896)

24才で夭折した明治時代の小説家。両親は甲州市出身。代表作に「たけくらべ」「にごりえ」などがあり、若くして文学史上に残る名作を残した。



なか むら せい こ
中村 星湖

(富士河口湖町 1884~1974)

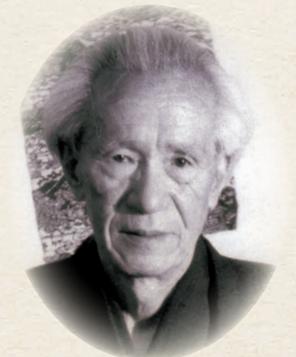
坪内逍遙らに師事し、富士北麓地域の自然を背景に少年たちの成長を描いた小説「少年行」で文壇にデビュー。戦後は山梨学院短期大学教授として後進の育成にあたった。



い い だ だ こつ
飯田 蛇笏

(笛吹市 1885~1962)

大正・昭和に活躍した近代を代表する俳人。雑誌「ホトギス」において頭角を現したのち、句誌「雲母」の主筆となり多くの後進を育てた。1932(昭和7)年、句集『山廬集』を刊行する。



あ さ か わ の り た か
浅川 伯教

(北杜市 1884~1964)

彫刻家で朝鮮半島の陶磁器の研究家であり教育者。雑誌「白樺」などに陶磁器に関する論文を発表、「朝鮮古陶磁の神様」と称される。



お お むら か ず え
大村 主計

(山梨市 1904~1980)

童謡「花かげ」の作詞者として知られる。詩人としての活動のほか、音楽業界や通信社等の要職を歴任し、山人会の理事長を務めるなど、山梨の文化振興に尽力した。



な が みね ひで き
永峯 秀樹

(北杜市 1848~1927)

沼津兵学校で英語を学び、海軍兵学校の教師を務めるかわら、「アラビアン・ナイト」を日本で初めて翻訳。近代日本の西洋文化の受容を推進した。



も ち づ き ゆ り こ
望月 百合子

(富士川町 1900~2001)

平塚らいてうとともに「婦人戦線」創刊に参加。戦前は新聞記者のほか、女性解放、女性教育運動や翻訳などで活躍。山人会の初代会員として県の文化振興に尽力した。



お が わ ま さ こ
小川 正子

(笛吹市 1902~1943)

東京女子医学専門学校(現在の東京女子医科大学)で学び、長島愛生園(岡山県)でハンセン病医療に尽力。その体験を綴った『小島の春』がベストセラーとなり、映画化された。